



- 私たちに出来る収入確保、お客さまが利用しやすいサービスの提供や環境整備に向けて- 申3号に続く第二弾!

健全な経営基盤の構築に向けた政策提言 会社に提出しました!

JR東労組は、2020年9月9日「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を発売し、赤字経営の克服に向けて奮闘することを意思統一してきました。しかし、私たちを取り巻く環境は新型コロナウイルスの影響により、依然として極めて厳しい状況にあることに変わりはありません。

コロナ禍は時代の大きな転換点となり、テレワークやeコマースなど、人の移動を伴わない働き方・暮らし方が急速に普及しました。人々の行動や価値観変容は、当社グループを取り巻く経営環境を大きく急速に変化させ、まさに「時計の針が10年早く回った」状況になっています。

1月29日に発表された「令和2年度・第3四半期決算」では、通期の営業利益は5080億円の赤字と極めて厳しい状況であり、私たちはかつて経験したことのない事態に至っています。さらに、1月からの緊急事態宣言の再実施により、国内経済は深刻な事態に直面しています。私たちは、このような厳しい経営状況を「健全な危機感」と捉え、2年連続の赤字経営を克服し、何としても黒字経営を実現しなければなりません。

JR東労組東京地本は、「時計の針が10年早く回った」時代認識を正しく受け止め、「労使共通の課題」として進むべきものであると考えます。

今だからこそ出来る収入確保とお客さまが利用しやすいサービスの提供や環境整備に向けて、政策提言を達言しました。組合員一人ひとりの叡智を結集し、政策提言の実現に向けて共に取り組みましょう。

政策提言の要旨はこちらです!

1. シェアオフィス (Station work) からの発展

駅で診療 (Station Medical) 駅ナカでの「オンライン診療」

- ・ JR病院ほかの医療法人等、駅周辺エリアの開業医と連携。調剤薬局を併設する。

2. 駅で授業 (Station Teaching)

- ・ 駅ナカでのオンライン授業学校法人や学習塾等と連携。
- ・ シェアオフィスの学割制度。

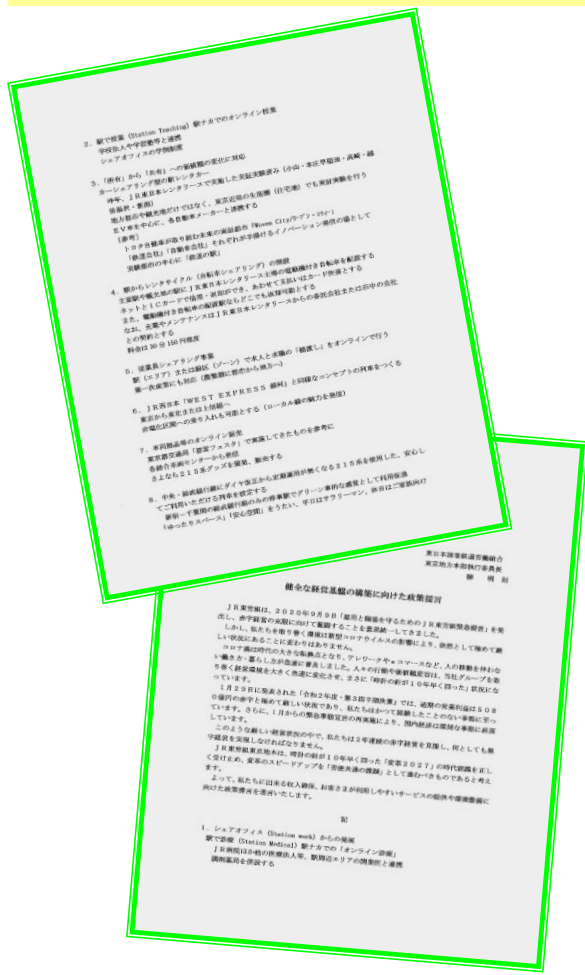
3. 「所有」から「共有」への価値観の変化に対応

カーシェアリング型の駅レンタカー

- ・ 昨年、JR東日本レンタリースで実施した実証実験済み (小山・本庄早稲田・高崎・越後湯沢・新潟)。
- ・ 地方都市や観光地だけではなく、東京近郊の生活圈 (住宅地) でも実証実験を行う。
- ・ E V車を中心に、各自動車メーカーと連携する。

[参考]

トヨタ自動車が取り組む未来の実証都市「Woven City/ウブン・シティ」
「鉄道会社」「自動車会社」それぞれが手掛けるイノベーション発信の場として、実験都市の中心に「鉄道の駅」をイメージする。



- 私たちに出来る収入確保、お客さまが利用しやすいサービスの提供や環境整備に向けて- 申3号に続く第二弾! 健全な経営基盤の構築に向けた政策提言(その2)

4. 駅からレンタサイクル(自転車シェアリング)の開設

主要駅や観光地の駅にJR東日本レンタリース主導の電動機付き自転車を配置

- ・ ネットとICカードで借用・返却ができ、あわせて支払いはカード決済とする。
- ・ 電動機付き自転車の配置駅ならどこでも返却可能とする。
- ・ 充電やメンテナンスはJR東日本レンタリースからの委託会社または市中の会社との契約とする。
- ・ 料金は30分150円程度。

5. 従業員シェアリング事業

- ・ 駅(エリア)または線区(ゾーン)で求人と求職の「橋渡し」をオンラインで行う。
- ・ 第一次産業にも対応(農繁期に都市から地方へ)。



6. JR西日本「WEST EXPRESS 銀河」と同様なコンセプトの列車をつくる

- ・ 東京から東北または上信越へ。
- ・ 非電化区間への乗り入れも可能とする(ローカル線の魅力を発信)。

7. 車両部品等のオンライン販売

- ・ 東京都交通局「都営フェスタ」で実施してきたものを参考に。
- ・ 各総合車両センターから発信。
- ・ さよなら215系グッズを開発、販売。



8. 中央・総武緩行線に215系を使用した、安心してご利用いただける列車を設定する

新宿-千葉間の総武緩行線のための停車駅(幕張・船橋・西船橋・本八幡など)でグリーン車的な感覚として利用促進

- ・ 「ゆったりスペース」「安心空間」をうたい、平日はサラリーマン、休日にご家族向けにボックス席を1名分(1グループ)のみの発売。
- ・ 移動中にビジネス(パソコン)やファミリー利用の促進。



9. 運賃遁脱等への対策として「東地申3号」以降、組員から寄せられた意見・要望等

車内改札のプロ集団による増収

- ・ 営業部内に特改プロ(復活)・専属部署(公募制)を設置する。
- ・ 常磐・中央・草津系特急や青梅線内の検札による増収。

新幹線通勤のお客さまへ「マイシート」を提供する

- ・ 一部、朝の通勤新幹線に専用の指定席車両を設定、フレックス定期にプラス料金することで、決まった座席が定期期間中に専用座席(マイシート)として確保できる。

タクシー会社(タクシー協会)との業務提携

- ・ タクシー会社(タクシー協会)に異常時運行情報を提供する。
- ・ 輸送障害時にタクシー会社の判断で配車を調整し、お客さまの救済に役立てる。
- ・ 機器貸出等手数料による増収。



自動改札機の設定変更

- ・ 短編成ワンマン列車にバス方式の採用(車載型IC改札機・JR西日本で実施済み)。
- ・ 駅社員による車内改札の実施。
- ・ 特急列車「富士回遊号」における車内改札の実施。
- ・ 連絡改札口の設置(甲府駅・身延線/小淵沢駅・小海線)。
- ・ ワンマン・無人駅での運賃取りこぼし対策・身延線や御殿場線の清算遅延対策。

